

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0006-4)
GeneAll Exgene™ Soil DNA:バッファータB

初回作成日:2025年9月25日

前回改訂日:2025年12月24日

最新改訂日:2026年3月13日

版番号:第3版

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称

製品名	GeneAll Exgene™ Soil DNA
製品番号	GA114-106 (Mini 6 回用サンプル) GA114-150 (Mini 50 回用)
バッファータ名	バッファータB Buffer TB

1.2 化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用実験試薬
使用上の制限	専門ユーザー向け

1.3 提供者の詳細



製造元の会社情報	GENEALL BIOTECHNOLOGY CO., LTD GeneAll Bldg., 303-7, Dongnam-ro, Songpa-gu, Seoul, 05729, Korea
供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル18階 電話番号:03-3813-0961 ファックス番号:03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号:03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分) Eメール:info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 化学品のGHS分類

危険有害性項目	危険有害性区分
物理化学的危険性	区分に該当しない/分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分:4
急性毒性(経皮)	区分:4
急性毒性(吸入)	区分:4
皮膚腐食性/刺激性	区分:1
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	区分:1
環境に対する有害性	区分に該当しない/分類できない

2.2 GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	  GHS05 GHS07
注意喚起語	危険
危険有害性情報	
物理的危険性	該当しない

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0006-4)
GeneAll Exgene™ Soil DNA:バッファーTB

健康有害性	H302: 飲み込むと有害
	H312: 皮膚に接触すると有害
	H314: 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
	H332: 吸入すると有害
環境有害性	該当しない
注意書き	
安全対策	P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
	P264+P265: 取扱い後は手をよく洗うこと。眼を触らないこと。
	P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
	P271: 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
	P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置	P301+P317: 飲み込んだ場合: 医療処置を受けること。
	P301+P330+P331: 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
	P302+P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
	P302+P361+P354: 皮膚に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。すぐに水で数分間洗うこと。
	P304+P340: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	P305+P354+P338: 眼に入った場合: すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P316: すぐに救急の医療処置を受けること。
	P330: 口をすすぐこと。
	P362+P364: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P363: 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。	
保管	P405: 施錠して保管すること。
廃棄	P501: 内容物/容器は、関係法令及び地方公共団体の規則に従い、産業廃棄物として適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別 : 混合物

3.2 化学名又は一般名

	化学名又は一般名	CAS 番号	濃度又は濃度範囲
①	チオシアン酸グアニジン / グアニジンチオシアナート Guanidine Thiocyanate	593-84-0	50~60%
注意	本製品に含まれる成分のうち、組成や濃度が営業秘密に該当するものについては、関連法規に基づき、成分名を非公開、濃度を非公開もしくは幅記載としています。また、製品仕様上、濃度にばらつきがある場合は、幅記載としています。SDS に記載がなくとも、危険有害性を有さない成分、法令により開示義務のない濃度未満の成分が含まれている可能性があります。		

4. 応急措置

一般的な情報	必要な処置をとるために、この SDS を担当医に見せること。
吸入した場合	呼吸が困難な場合は、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	呼吸していない場合は、人工呼吸をすること。
	医療処置を受けること。

**安全データシート(SDS 番号:SDSGA0006-4)
GeneAll Exgene™ Soil DNA:バッファーTB**

皮膚(又は髪)に付着した場合	汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
	皮膚を水/シャワーで洗い流すこと。
	医療処置を受けること。
眼に入った場合	水で少なくとも 15 分間注意深く洗い流すこと。
	コンタクトレンズを外すこと。
	医療処置を受けること。
飲み込んだ場合	気分が悪い場合は、医療処置を受けること。
	無理に吐かせないこと。
	水で口をすすぐこと。
	意識のない人には絶対に何も与えないこと。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素消火剤、水噴霧
	窒息消火の場合:乾燥砂または土
使ってはならない消火剤	情報なし

5.2 火災時の特有の危険有害性

危険有害性	情報なし
-------	------

5.3 消火活動を行う者の特別な保護具

消火を行う者の保護具	必要に応じて自給式呼吸器(SCBA)を着用すること。
------------	----------------------------

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項	粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
	適切な換気を確保すること。
保護具	手袋および保護眼鏡を着用すること。
緊急時措置	安全に対処できるならば漏洩を止めること。
	人員を安全な場所に避難させること。

6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。
	漏出物の飛散や、水路、下水道、排水路、閉鎖された区域への流入を防ぐこと。

6.3 封じ込め及び浄化の方法・機材

封じ込め及び浄化の方法・機材	不活性材料(例:乾燥砂または土)で吸収し、化学廃棄物容器に入れること。
	有害廃棄物として処分すること。
	水で洗い流さないこと。

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0006-4)
GeneAll Exgene™ Soil DNA:バッファーTB

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

安全取扱注意事項	皮膚や眼との接触を避けること。
	粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
	本製品を使用する際は、飲食や喫煙をしないこと。
	換気の良い場所でのみ使用すること。
	容器が空になっても残留している可能性があるため、すべての SDS/ラベルの注意事項に従うこと。
	取り扱いや保管には十分注意すること。
	使用する前に慎重にふたを開けること。

7.2 保管

安全な保管条件	暗くて涼しい場所に保管すること。
	容器をしっかりと密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管すること。
	漏れを防ぐため、開封した容器は注意深く再密閉し、直立で保管すること。
	飲食物から離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 許容濃度等

ばく露限界(日本産業衛生学会)	データなし
ACGIH ばく露限界	データなし
生物学的ばく露規制(BEI)	データなし

8.2 設備対策

ばく露を軽減するための設備対策	情報なし
-----------------	------

8.3 保護具

呼吸用保護具	ばく露物質の物理的・化学的特性に適合し、適切な政府基準により試験・承認された呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	適切な政府基準により試験・承認された保護手袋を着用すること。
	使用前に手袋を点検すること。
	使用後の手袋は、関連する規制および GLP 基準に従い処分し、手を洗って乾かすこと。
眼及び/又は顔面の保護具	密着型の安全眼鏡とフェイスシールドを着用すること。
	適切な政府基準により試験・承認された遮光マスク又はゴーグルを着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な耐薬品性の保護衣を着用すること。
	作業区域内の物質の濃度と量に応じて選択すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態(外観/形状)	液体
色	データなし
臭い	データなし
臭いの閾値	データなし
融点/凝固点(軟化温度/範囲)	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性(液体、ガス)	データなし

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0006-4)
GeneAll Exgene™ Soil DNA:バッファーTB

爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	7~8
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
分子量	データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	適切な使用条件および保管条件下では安定している。
危険有害反応の可能性	適切な使用条件および保管条件下では安定している。 火災により有害な分解生成物が発生する。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	火災時に発生する有害な分解生成物:炭素酸化物、窒素酸化物、硫黄酸化物、シアン化水素、アンモニア

11. 有害性情報

危険有害性項目	内容
急性毒性(経口)	飲み込むと有害。火傷を引き起こす。
急性毒性(経皮)	皮膚から吸収されると有害。皮膚に火傷を引き起こす。
急性毒性(吸入)	吸入すると有害。粘膜および上気道に対して非常に有害。
皮膚腐食性/皮膚刺激性	皮膚に重度の火傷(腐食性)を引き起こす。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	重篤な眼の損傷を引き起こす。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	本品に 0.1%以上含まれる物質の中で、IARC において、ヒトに対して発がん性の可能性がある、疑いがある、確認されている物質として分類されているものはない。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	腐食性により、呼吸器系を刺激する可能性がある。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0006-4)
GeneAll Exgene™ Soil DNA:バッファーTB

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性(急性)	データなし
水生環境有害性(長期間)	データなし

12.2 残留性・分解性：データなし

12.3 生物蓄積性：データなし

12.4 土壤中の移動性：データなし

12.5 他の有害影響

オゾン層への有害性	データなし
-----------	-------

13. 廃棄上の注意

13.1 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

製品及び残余廃棄物	内容物/容器は、関係法令及び地方公共団体の規則に従い、産業廃棄物として適切に廃棄すること。
	廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険有害性を告知すること。
	環境への放出を避けること。
汚染容器及び包装	完全に空でない場合は、製品入り容器と同様に処理すること。

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

国連番号 (UN Number)	非該当
品名(国連輸送名) (UN Proper Shipping Name)	非該当
国連分類 (輸送時の危険有害性クラス) (UN Transport Hazard Class)	非該当
容器等級 (Packing Group)	非該当
海洋汚染物質	非該当
ユーザー向け特別注意事項	ADR/RID(陸上規制)、ADN(内陸水路規制)、IMO/IMDG-Code(海上規制)、ICAO/IATA-DGR(航空規制)で規制された危険物ではない。

14.2 国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従うこと。
航空規制情報	航空法の規定に従うこと。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。

15. 適用法令

15.1 該当法令

化審法	非該当
化管法/PRTR 法	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0006-4)
GeneAll Exgene™ Soil DNA:バッファーTB

廃掃法	産業廃棄物
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
覚醒剤取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
化学兵器禁止法	非該当
大気汚染防止法	非該当
オゾン層保護法	非該当
悪臭防止法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
水道法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法	非該当
港則法	非該当
道路法	非該当
労働基準法	非該当
農薬取締法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
地球温暖化対策推進法	非該当
フロン排出抑制法	非該当

16. その他の情報

この安全データシート(SDS)は、作成時点において入手可能な製品情報および危険有害性情報に基づいて作成しておりますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。このため、新たな情報を入手した場合には、内容を追加または訂正することがあります。また、本 SDS に記載された情報は、製品の通常の手扱いを前提として提供するものであり、すべての使用条件下での安全性を保証するものではありません。ご使用に際しては、実際の作業条件に応じて十分な安全対策を講じてください。

引用文献及び参照ホームページ等

- ・サプライヤー提供の SDS
- ・JIS Z 7252: GHS に基づく化学品の分類方法
- ・JIS Z 7253: GHS に基づく化学品の危険有害性の情報伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
- ・化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)
- ・NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
- ・ezCRIC+ (日本ケミカルデータベース株式会社)

以上